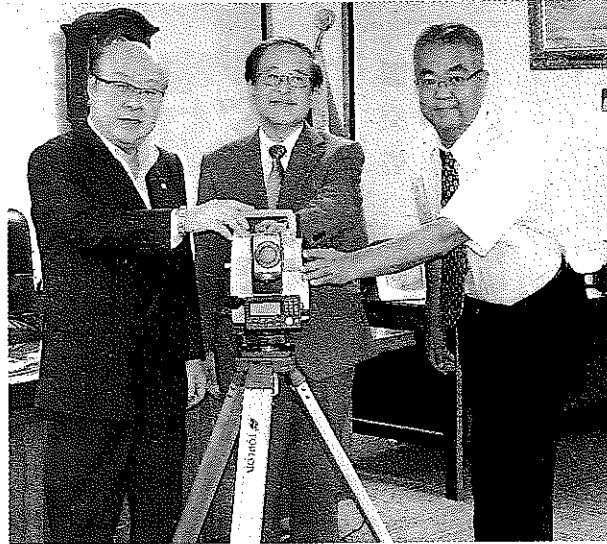


鹿児島工高に測量機器寄贈

県建設業協会

県建設業協会（川畑俊彦会長）は26日、鹿児島市の鹿児島工業高校（野中久光校長）に最新測量機器一式を贈呈し、関係者から感謝の言葉が寄せられた。写真。同協会的一般社団法人



移行（2013年4月1日）に伴う社会貢献活動で、今年で3回目。若年技術者の人職促進を図るとともに、日ごろの実習に役立ててもらおうと、県内の土木系学科のある4校に贈呈。贈られたトータルステーションは（株）トコン製で1台当たり定価約130万円相当。

同日、鹿児島市の県建設センターであった贈呈式には、川畑会長をはじめ、野中校長や同校建設技術系の榊山信人教諭らが出席。川畑会

地元企業入職へ期待

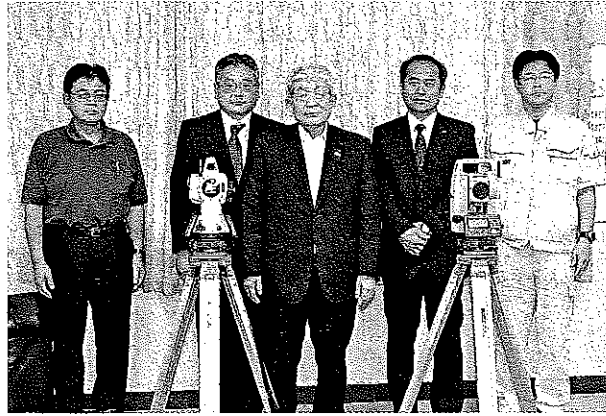
長は「人材確保・育成は大きな課題。最新機器に触れ、1人でも多くの生徒が本県建設業界へ進んでくれたらありがたい」と期待を込めた。

これを受け、野中校長は感謝の言葉を述べるとともに、「最新の機器を使うことで、生徒のやる気向上につながる。今年本県で開催される高校生ものづくりコンテスト全国大会には、本校生徒の出場が決まっており、大会に向けても有意義に活用させてもらいます」と話した。

2校に測量機器贈呈

生徒たちの力に

建協鹿屋支部



県建設業協会鹿屋支部（谷口幸司支部長）は24日、鹿屋市の鹿屋建設会館で鹿屋工業高校（田代裕一郎校長）と鹿屋農業高校（長雅秀校長）にトータルステーションなどの最新測量機器を贈呈した。

今回、建設業の担い手不足が大きな課題となる中、若年技術者の入職者確保対策の一環と、実習や就職の際に役立ててもらおうとトータルステーションと脚立をセットで贈った。

贈呈式には、谷口支部長をはじめ、田代校長と長校長、両校の進路指導部の建設技術系の教諭らが出席。谷口支部長は「最新の測量機器を十分活用し、技術力向上、また就職の際にも役立ててほしい」と挨拶した。

これを受け、田代校長と長校長は「高価な機器をいただき、実習等で活用し大事に使います」「3年連続の贈呈に感謝

する。生徒たちの力になれるように活用させてもらいます」と感謝した。贈呈は協会の一般社団

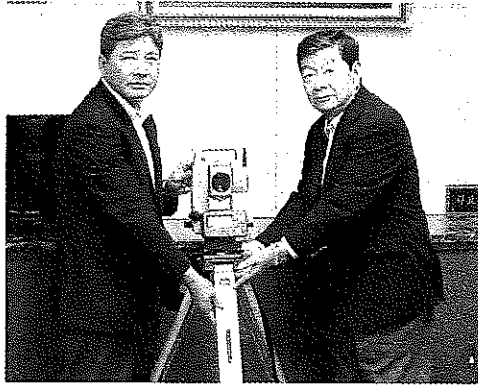
法人移行に伴う社会貢献事業で、一昨年から続き3回目。県内の土木系学科がある4高校に贈呈。

（株）プロコン製で1台当たりは定価で約130万円相当。

建協加治木支部

加治木工高に測量機器寄贈

地元企業へ就職願う



県建設業協会加治木支部（木山裕継支部長）は23日、若者の地元建設業入職を目指すして県立加治木工業高校（有上英夫校長）に測量機

器のトータルステーションを寄贈した。写真。協会の一般社団法人移行に伴う社会貢献事業で、一昨年から続き3回目。若年入職者確保対策でもあり、日ごろの実習に役立ててもらおうと、県内の土木系学科がある4高校に贈呈する。

（株）プロコン製で1台当たりの定価は約130万円相当。始良市の始良郡建設会館であった贈呈式には、同校より有上校長、渡邊裕久土木科主任

が出席。初めに木山支部長が「貴校の卒業生が会員各社に数多く在籍し、地域や住民にとって必要不可欠なインフラ整備を担っている。先輩たちの想いもつまった贈り物。建設技術の素晴らしさを学び、明るい希望を持って地元企業に就職してほしい」と挨拶。

これを受け、有上校長は「3年連続の高価な寄付はありがたい。土木・建築業界に夢を持って勉学に励んでもらえるのは、しっかり技術を習得できるように指導していきたい」と謝辞を述べた。同校土木科生徒は119人。今年本県で開催される高校生ものづくりコンテスト九州・全国大会へ向けても、寄贈品を有意義に活用したいとしている。